

平成 29 年度「海洋教育 教員研修プログラム」  
高嶺小学校 海洋教育のデザイン

1 学校名	糸満市立高嶺小学校
2 活動名	海人が活躍した糸満の海を知ろう
主な教科領域等	教科領域（生活科・国語・体育・総合的な学習）参加児童生徒（ 全学年 302名）
実践期間及び時数	平成 29 年 7 月 1 日 ～ 平成 30 年 2 月 10 日（のべ60時間）
海洋教育の3つの柱との関連	※該当するものに丸をつけてください。複数可。（※センターのパンフレットやHPを参照） ①環境 ②生命

### 3 実践の概要・ならい

#### (1) 実践の概略

リーフトレイル、スノーケリング、サバニを漕ぐ、そして糸満の魚を美味しく食べる等の実体験を通して、子供達の故郷である糸満の海やそこに住む生き物のことを実感を持って系統的に学ぶ。

#### (2) 活動のねらい

糸満は昔から海人の街と呼ばれ、「サバニ」と呼ばれるくり舟に乗り南洋各地へ出漁し、追込漁や漁行商に従事していた。しかし、近代化と共に海で生活する人々が減り、子ども達も海体験が少なくなり、海洋への関心や知識も低下してきている。そこで、本プロジェクトでは沖縄水産高校を主幹校として人的・技術的に連携し、小学生にリーフトレイル、スノーケリング、サバニを漕ぐ、魚を食べる等の学年に応じた実体験を系統的に行う。これらのプログラムを通して、先人が活躍してきた、自分達地域である糸満の海を多角的に知り、愛する心を育むことを目的とする。

### 4 実践計画

①リーフトレイル「海辺の生き物を見つけよう」1, 2年生：10月、11月 生活科・国語科  
「実践のねらい」潮の引いた時間帯に出現するサンゴ礁の大地を安全に気をつけて歩き、そこに住む生きものを観察することで、海とそこに住む生きものに親しむ楽しさを実感しながら、海への関心を高める。



糸満の海は生き物がいっぱい！



#### <実践の評価>

- ・潮だまりにいる生物を実際に観察し、海とそこにいる生き物に親しみながら、海の生き物への関心を高めることができた。
- ・観察した生き物を、図鑑やインターネットを利用したり、専門家に訪ねたりすることで、その特徴や住んでいる場所等を調べることができた。

・自分達で調べた生き物を、壁新聞やクイズにまとめ、仲間と発表し合うことで「海の生き物」についてさらに興味関心を広げることができた。

②「昔の道具と暮らし」3年生：2月 社会科  
「実践のねらい」海人工房を見学し、昔の道具を観察したり使ったりして、道具の名前や使われていた時期、気づいたことや疑問などを絵カードにまとめることができるようにする。



### <実践の評価>

海人工房を見学し、昔の道具を観察したり使ったりして、道具の名前や使われていた時期、気づいたことなどをまとめることができた。

### ③食育「糸満の魚を知ろう、美味しく食べよう」4年生：9月、10月 総合的な学習

「実践のねらい」昔から漁業が盛んであった糸満市の海の恵「魚」について、その種類や特徴を知り、実際に魚を裁き、美味しく食べる体験を通して、魚を生活に利用するための知識と技能を身に付けることで、海の自然の豊かさを実感しながら海洋に対する関心を高める。



糸満の魚は美味しい！

<実践の評価>・魚を裁き、糸満に昔から伝わる調理方法で美味しく食べる体験を通して、魚食に関心を持ち、進んで調理しようとする意欲を高めることができた。  
・体験したことを、壁新聞等まとめ、魚を食べることの魅力を発信することができた。

### ④スノーケリング「糸満のサンゴ、熱帯魚を自分の目で」：9月 体育科

「実践のねらい」プールにてスノーケリングの技術を練習し、糸満の海にてサンゴや熱帯魚を観察する体験を通して、安全に海で活動するための知識と技能を身に付け、海の自然の豊かさを実感しながら海洋に対する関心を高める。



自分の目でサンゴを



<実践の評価>・スノーケリング用具の装着方法や安全にスノーケリングを行うために必要な技術を身に付けることができた。  
・サンゴや熱帯魚を観察することで、スノーケリングの魅力や糸満の

の素晴らしさを実感することができた。

- ・自分達がスノーケリングで体験したことを、壁新聞や作文でまとめ、発表し合うことで「糸満の海」についてさらに興味関心を広げることができた。

### ⑤サバニ体験—糸満に伝わるサバニを僕らが漕ぐぞ」6学年：10月 総合的な学習

「実践のねらい」糸満は昔から海人の街と呼ばれ、「サバニ」と呼ばれる舟に乗り南洋各地へ出漁し、追込漁や漁行商に従事していた。しかし、近代化と共に海で生活する人々が減り、子ども達も海体験が少なくなり、海洋への関心や知識も低下してきている。そこで、小学生にサバニを漕ぐ実体験を通して、先人が活躍してきた糸満の海を多角的に知り、愛する心を育む。



糸満の海人はすごいな！

<実践の評価>・糸満に古くから使われてきたサバニについて、専門家の話や事前学習を通しサバニへの関心を高めることができた。  
・帆掛サバニに乗船し、漕いだり、風をうけて進む体験を通して、先人の知恵と技術の凄さを、実感を持って知ることができた。  
・調べたサバニの優れていることや、先人の知恵を、壁新聞にまとめ、仲間や後輩へ発信することができた。

## 5 今年度の実践

### ①計画からの追加・変更点

3学年の「昔の道具と暮らし」を追加して実施した。

### ②実践の成果

#### ア、海洋教育の改善の視点から

海や海洋生物の専門家と海の仕事を目指す身近な高校生とともに、主体的・体験的な海洋学習や、魚食の授業を行うことで、低学年は「海に親しむ」ことから始まり、中学年「海を知る」ことで海への関心を高め、高学年では、さらに海と人との共生のために「海を利用」し「海を守る」ことの大切さを学ぶことができた。

#### イ、児童生徒の変容の視点から

- ・海の生きものとふれあえたことで名前を覚え、自主的に図鑑で生きものを調べた子もいた。(1年)
- ・リーフトレイルでどの子も抵抗なく生きものに触れ、楽しく取り組めた。また、体験に感動し「糸満が好きだ」と言う子もいた。(2年)
- ・水産高校生徒の、自信を持って専門を追求する近い姿から、キャリア教育にも繋がった。(6年)
- ・リーフトレイルの後、国語の言語活動の一環として、クイズや生きもの図鑑をつくった。(2年)
- ・実際に触ったことのない魚に触れ、さらに食べることが子供の意欲をより高めた。授業後、家庭で実際に料理したり、魚に興味を持ち、積極的に買い物をする子が出てきた。(4年)
- ・普段は見られない海中を見て喜び、海の環境問題について考える児童もいた。また、スノーケリングが怖い児童が、練習を積み安全に実施した経験から「とても楽しく、もっと海の中が見たい」と言っていた(5年)
- ・実際にサバニに乗る体験はなかなかできないことなのでとても良かった。海での体験(釣り、リーフトレイル)も良く、糸満(海の地域)の良さや先人の凄さを感じる事ができた。(6年)

#### ウ、教職員や保護者の変容や地域との連携の視点から

- ・2年生のフィールドワークの後に2の2で「分類」の授業を通し、生き物の特徴に気づかせる活動を行った際、とても理科に興味を持ってくれたし、子供の発想に新たなよさも見つけられた。(理科)
- ・リーフトレイルの学習について知ることができ、磯の危険についても認識した。(1年)
- ・教師自身、初めての大度海岸を訪れ、生物の多様性や生態に気づくことができた。また、実施後、家族で出かけて、生きもの探しをした子がいた。(2年)
- ・糸満の伝統的な料理法を学ぶことができ、食中毒を防ぎながら美味しいという新たな発見があった(4年)
- ・スノーケリングでは、教師も不安があったが、子供達のレベルにあった学習過程で実施することでみんな海に潜れ、全員楽しそうな表情で、教員も含めいい経験となった。(5年)
- ・教師にとってもサバニのよさや地域、糸満の海人の歴史を学ぶことができた(6年)

### ④本実践で特に工夫した点、特筆すべき内容や方策

- ・地元の海とそこで活躍してきた海人の歴史や素晴らしさを、その学年にあった実体験を多く取り入れながら系統的に学べるようにしたこと。
- ・講師として、その道のプロ(第一人者)にお願いし、各体験を実施したことで「本物」に触れさせることができた。

### ⑤次年度への課題

- ・自然相手なので、天候に左右されるため、日程に予備をしっかりと位置づける。
- ・安全についてははやり過ぎるほどの対処が必要であり、保護者や関係機関との連携が必要。

## ⑥今後に向けた展望

- ・海に囲まれた沖縄であるが、学校で海を取り扱っているのは少なく、本校の取り組みである「スノーケリング」の海実習の様子がニュースで取り上げられると、多くの学校や教育機関から、取り組みについて反響があり、海洋教育プロジェクトへの問い合わせがあった（隣接する高嶺中学校は来年度応募）。

※ニュース映像あり

## 6 主な連携機関

- ・沖縄県立沖縄水産高等学校：リーフトレイル、魚食、サバニ体験を共同実施。安全面の補助や技術の伝達
- ・沖縄県スノーケリング協会：スノーケリング技術指導や海の安全についてレクチャー
- ・国立沖縄青少年交流の家：スノーケリングインストラクター派遣、用具の借用
- ・糸満帆掛サバニ振興会：サバニ体験の技術指導およびサバニの提供

## 1, 2 学年 リーフトレイル「海辺の生き物を見つけよう」

「実践のねらい」

潮の引いた時間帯に出現するサンゴ礁の大地を安全に気をつけて歩き、そこに住む生きものを観察することで、海とそこに住む生きものに親しむ楽しさを実感しながら、海への関心を高める。

○時数 10、11月 12時間

○関連 生活科、国語



○目標 (1) 実際に大度海岸に出かけ、潮だまりにいる生物を観察し、海とそこにいる生き物に親しみながら、海の生き物への関心を高める。

(2) 大度海岸で観察した生き物を、図鑑やインターネットを利用したり、専門家に訪ねたりすることで、その特徴や住んでいる場所等を調べる。

(3) 自分達で調べた生き物を、壁新聞やクイズにまとめ、仲間と発表し合うことで「海の生き物」についてさらに興味関心を広げる。

### 【主な連携機関と内容】

・沖縄水産高校：  
安全指導と生き物指導

月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
体験的な活動										
探求的な活動										
表現活動										
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p><b>海辺の生き物を見つけよう</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>1 リーフトレイル:生活科</b></p> <p>・潮だまりにいる生物の観察から、海洋生物に興味を持つ。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>2 生物博士になろう:生活科</b></p> <p>・大度海岸で観た生き物について、その特徴や住んでいる場所を調べる</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>3 生物をみんなに伝えよう:国語</b></p> <p>・調べたことを、壁新聞やクイズにまとめ、仲間に伝えよう</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px; background-color: #f0f0f0;"> <p>&lt;留意点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・暑さ対策、熱中症対策を十分に行う</li> <li>・捕った生きものは観察後逃がす</li> <li>・むやみに生物に触らない</li> <li>・沖縄水産高校生と事前に打ち合わせ、子ども達との顔合わせを行う。</li> </ul> </div> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>									

### 3 学年 「昔の道具とくらし」

「実践のねらい」

海人工房を見学し、昔の道具を観察したり使ったりして、道具の名前や使われていた時期、気づいたことや疑問などを絵カードにまとめることができるようにする。


○時数 2月 10時間

○関連 社会科

- 目標
- (1) 昔の暮らしの様子が描かれた絵を見て、昔の道具やそれらを使っていたころの人々の暮らしについて関心をもつことができるようにする。
  - (2) 海人工房を見学し、昔の道具を観察したり使ったりして、道具の名前や使われていた時期、気づいたことなどをまとめることができる。
  - (3) 祖父母の世代の人々に、子どもの頃の暮らさを尋ねて調べ、道具や暮らしがどのように変化してきたかをとらえることができるようにする。

**【主な連携機関と内容】**

- ・海人工房：  
昔の道具の見学、説明

月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
体験的な活動	 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px;"> <p>&lt;留意点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・暑さ対策、熱中症対策を十分に行う</li> <li>・展示品には触らない</li> <li>・説明は、静かにメモを取りながら聞く</li> <li>・安全に留意してバスの乗車等を行う</li> </ul> </div>									
探求的な活動										
表現活動										
	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p><b>昔の道具と暮らし</b></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>1 昔の道具を探そう：社会科</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔の暮らしの様子が描かれた絵を見て、昔の道具を探したり、今の道具と比較してそれらの使い方を考えたりする。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>2 海人工房をたずねて：社会科</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土資料館で調べることを計画し、実際に見学して調べたことを絵カードにまとめる。</li> </ul> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>3 おじいさんおばあさんが子供の頃：社会科</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・祖父母の世代の人々に、昔使っていた道具のことや暮らしの様子について質問し、わかったことや考えたことをノートにまとめる。</li> </ul> </div> </div>									



## 4 学年 食育「糸満の魚を知ろう、美味しく食べよう」

**【主な連携機関と内容】**  
 ・沖縄水産高校：魚裁き技術指導



### 「実践のねらい」

昔から漁業が盛んであった糸満市の海の恵「魚」について、その種類や特徴を知り、実際に魚を裁き、美味しく食べる体験を通して、魚を生活に利用するための知識と技能を身に付けることで、海の自然の豊かさを実感しながら海洋に対する関心を高める。

○時数 10月 8時間

○関連 総合的な学習

- 目標 (1) 糸満の魚を裁き、糸満に昔から伝わる調理方法で美味しく食べる体験を通して、魚食に関心を持ち、進んで調理しようとする意欲を高める。  
 (2) 体験したことを、壁新聞や作文にまとめ、糸満の魚を食べることの魅力発信する。

月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
体験的な活動					<p><b>糸満の魚を知ろう、美味しく食べよう</b></p> <p><b>1 マグロを解体して食べよう：総合学習</b>                      ・沖縄水産高校の生徒が海洋で捕ってきたマグロを、子供達の目の前で解体し、魚を裁く技術を習得しながら、糸満に昔から伝わる美味しく安全な調理法を学ぶ。</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #fff9c4;"> <p>&lt;留意点&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・衛生対策を十分に行う：手洗い、服装</li> <li>・安全な行動・態度：落ち着いた行動、走らない等</li> <li>・家でも実践できるようにする：レシピ</li> </ul> </div>					
探求的な活動					<p><b>2 糸満の色々な魚を食べよう：総合学習</b>                      ・糸満で捕れる色とりどりの魚を裁き、糸満に昔から伝わる調理方法で美味しく食べる体験を通して、魚食に関心を持ち、進んで調理しようとする意欲を高める。</p>						
表現活動					<p><b>3 糸満の魚を美味しく食べるための方法をみんなに伝えよう：総合学習</b>                      ・体験したことを、壁新聞や作文にまとめ、糸満の魚の魅力を発信する。</p>						

## 5 学年 スノーケリング「糸満のサンゴ・熱帯魚を自分の目で」

「実践のねらい」

プールにてスノーケリングの技術を練習し、糸満の海にてサンゴや熱帯魚を観察する体験を通して、安全に海で活動するための知識と技能を身に付け、海の自然の豊かさを実感しながら海洋に対する関心を高める。



○時数 9月 12時間

○関連 体育科

- 目標
- (1) プールにてスノーケリング用具の装着方法や安全にスノーケリングを行うために必要な技術を学ぶ。
  - (2) 地域にある大度海岸にてスノーケリングでサンゴや熱帯魚を観察し、スノーケリングの魅力や糸満の海の素晴らしさを実感する。
  - (3) 自分達がスノーケリングで体験したことを、壁新聞や作文でまとめ、発表し合うことで「糸満の海」についてさらに興味関心を広げる。

### 【主な連携機関と内容】

- ・ 沖縄県スノーケリング協会：  
スノーケリング技術指導
- ・ 国立沖縄青少年交流の家：  
講師派遣、物品借用

月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
体験的な活動										
探求的な活動										
表現活動										

**糸満のサンゴ・熱帯魚を自分の目で**

**1 プールでのスノーケリング練習：体育**

- ・ プールにてスノーケリング道具の装着方法や、スノーケリングに必要な技術を習得する。また、海の安全について知る

**2 大度海岸でのスノーケリング：体育課**


- ・ 糸満市内の大度海岸にてスノーケリングを行い、サンゴや熱帯魚を自分達の目で見る。また、待ち時間には、リーフトレイルを行う

**3 糸満の海の素晴らしさやスノーケリングの魅力をみんなに伝えよう：総合的な学習**

- ・ 調べたことを、壁新聞や作文にまとめ、海やスノーケリングの魅力を発信する。

<留意点>

- ・ 暑さ対策、熱中症対策を十分に行う
- ・ 必ずバディで行動する
- ・ むやみに生物に触らない。





## 6 学年 サバニ体験「糸満に伝わるサバニを僕らが漕ぐぞ」

「実践のねらい」

糸満は昔から海人の街と呼ばれ、「サバニ」と呼ばれる舟に乗り南洋各地へ出漁し、追込漁や漁行商に従事していた。しかし、近代化と共に海で生活する人々が減り、子ども達も海体験が少なくなり、海洋への関心や知識も低下してきている。そこで、小学生にサバニを漕ぐ実体験を通して、先人が活躍してきた糸満の海を多角的に知り、愛する心を育む。



○時数 10、11月 12時間

○関連 総合的な学習

- 目標
- (1) 糸満に古くから使われてきたサバニについて、専門家の話やビデオを通して知り、サバニへの関心を高める。
  - (2) 北名城海岸で帆掛サバニに乗船し、漕いだり、風をうけて進む体験を通して、先人の知恵と技術の凄さを知る。
  - (3) 自分達で調べたサバニの優れていることや、先人の知恵を、壁新聞やプレゼンにまとめ、仲間や後輩へ発信する。

**【主な連携機関と内容】**

- ・ 沖縄水産高校：安全指導と釣り指導
- ・ 糸満市帆掛サバニ振興会：サバニの乗船体験

月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
体験的な活動	 <div style="border: 2px solid blue; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p style="text-align: center;"><b>糸満に伝わるサバニを僕らが漕ぐぞ</b></p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>1 サバニを知ろう：総合的な学習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 糸満に古くから使われてきたサバニについて、専門家の話やビデオを通して知り、興味・関心を持つ。</li> </ul> </div> <p style="text-align: center; color: yellow; font-size: 2em;">↓</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><b>2 サバニを漕ごう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北名城海岸で帆掛サバニに乗船し、漕いだり、風をうけて進む体験を通して、先人の知恵と技術の凄さを知る。</li> </ul> </div> <p style="text-align: center; color: yellow; font-size: 2em;">↓</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px;"> <p><b>3 サバニの凄さを伝えよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調べたことを、壁新聞やクイズにまとめ、仲間や後輩に伝えよう</li> </ul> </div> </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%; background-color: #fff9e6;"> <p style="text-align: center;">＜留意点＞</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 暑さ対策、熱中症対策を十分に行う</li> <li>・ ルールやマナーを守って体験する</li> <li>・ むやみに海の生物に触らない</li> </ul> </div> 									
探求的な活動										
表現活動										